

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社 ロブテックス
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,330	8.4	35	66.5	23	74.7	8	85.7
2019年3月期第1四半期	1,452	2.8	105	19.4	94	21.9	58	20.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 27百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 57百万円 (46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.94	
2019年3月期第1四半期	62.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,940	4,099	49.4
2019年3月期	8,109	4,206	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,919百万円 2019年3月期 4,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		70.00	70.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,130	0.5	280	36.3	230	42.1	140	42.9	149.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	1,000,000 株	2019年3月期	1,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	66,075 株	2019年3月期	66,075 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	933,925 株	2019年3月期1Q	933,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、各種政策効果などにより雇用や設備投資の改善が継続しておりますものの、引き続き労働力不足や米中貿易摩擦の強まりなどの懸念材料もあり、景気の先行きについては減速懸念を強めつつ推移しました。

このような状況の下、当社グループは全社員を一丸とする企業文化“コーポレートカルチャー”を醸成し、創立100周年(2023年度)にあるべき姿を目指すため、経営ビジョンを「モノづくりのプロにゆだね モノづくりの愉しさを育む」、経営スローガンを「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応えるとともに、つくる愉しさを伝え広げる事で社会に貢献します」と定め、その浸透と発信を図り、経営目標達成に向けて努力してまいりました。また、2019年4月にコーポレートカルチャーの醸成促進とより機能的な組織体制とすべく、組織改革を実施し、社長室をコーポレートカルチャー醸成に特化させ、営業部に営業企画・推進部門を統合させるとともに、取引先別販売チャネル展開を加速すべくeビジネス推進部門を新設しました。また、顧客満足の充実を図るため、カスタマーサービス部門を独立させました。そして、将来を見据え、金属製品事業では生産設備の拡充を、レジャー事業ではサービス向上に向けた設備投資を計画的に進めるとともに、人的な投資・充実を行ってまいりました。

その結果、概ね当初予想の想定内で推移しておりますものの、売上高は前年同期比8.4%減の13億3千万円(前年同期14億5千2百万円)となり、利益面では減収影響に人件費増加も加わり、営業利益で同66.5%減の3千5百万円(同1億5百万円)、経常利益で同74.7%減の2千3百万円(同9千4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益で同85.7%減の8百万円(同5千8百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ減少しました。ハンドツール部門では電設工具の減少はありましたものの、OEM製品の回復を主因に増加し、ファスニング部門ではエアリーバッターなどのファスニングツールは堅調でありましたが、工業用ファスナーが工事物件の工期遅延などにより低調となり減少しました。切削工具部門については拡販努力を行いましたが、継続的な価格競争影響により減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ減少しており、ハンドツール部門では主力販売国である韓国の経済環境や流通在庫増加影響により、レンチ類・プライヤ類・電設工具が大幅に減少しました。ファスニング部門においても米国における流通在庫増加影響により、エアリーバッター等のファスニングツールが減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比8.4%減の12億7千2百万円(前年同期13億8千9百万円)となりました。利益面ではセグメント利益が減収や人件費増により、前年同期比90.7%減の7百万円(同7千8百万円)となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における入場者数及びお客様一人当たり売上高は、サービス向上や集客施策の効果が見受けられるものの、高気温等の天候影響により前年同期に比べ減少し、売上高は前年同期比7.1%減の5千8百万円(前年同期6千3百万円)となりました。一方、セグメント利益は減収影響がありましたが、前年同期に実施した設備修繕等の費用が無くなり、同3.1%増の2千8百万円(同2千7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は79億4千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6千8百万円減少しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比2億8百万円減の50億2百万円となりました。これは主に現金及び預金やたな卸資産が増加する一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同4千万円増の29億3千8百万円となりました。これは工場棟新築を中心とした設備計画進捗による有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比4千7百万円増の25億2千7百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少がありましたものの、短期借入金や未払費用が増加したことによるものです。

固定負債は同1億9百万円減の13億1千4百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末比1億6百万円減の40億9千9百万円となりました。これは主に配当支出による利益剰余金及び投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、2019年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,073,590	2,118,202
受取手形及び売掛金	1,342,612	1,058,334
電子記録債権	189,004	176,197
商品及び製品	1,028,149	1,029,869
仕掛品	299,305	322,378
原材料及び貯蔵品	214,101	229,798
その他	70,329	72,847
貸倒引当金	△5,646	△4,900
流動資産合計	5,211,447	5,002,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	743,424	982,402
土地	738,508	738,508
その他（純額）	646,970	479,321
有形固定資産合計	2,128,903	2,200,232
無形固定資産	36,572	33,370
投資その他の資産	732,726	704,643
固定資産合計	2,898,202	2,938,247
資産合計	8,109,650	7,940,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,553	226,573
短期借入金	1,599,188	1,621,809
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	38,390	25,144
その他	553,168	594,011
流動負債合計	2,480,299	2,527,538
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	1,005,686	902,342
退職給付に係る負債	65,047	62,764
その他	202,584	199,160
固定負債合計	1,423,318	1,314,266
負債合計	3,903,618	3,841,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	2,504,848	2,447,826
自己株式	△164,014	△164,014
株主資本合計	3,791,879	3,734,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,313	184,331
その他の包括利益累計額合計	222,313	184,331
非支配株主持分	191,838	179,980
純資産合計	4,206,031	4,099,170
負債純資産合計	8,109,650	7,940,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,452,624	1,330,893
売上原価	909,348	845,691
売上総利益	543,276	485,202
販売費及び一般管理費	437,798	449,823
営業利益	105,477	35,378
営業外収益		
受取配当金	6,721	7,600
受取家賃	2,228	2,305
その他	2,576	2,939
営業外収益合計	11,527	12,845
営業外費用		
支払利息	8,879	8,118
売上割引	12,903	12,388
その他	325	3,743
営業外費用合計	22,108	24,250
経常利益	94,896	23,974
税金等調整前四半期純利益	94,896	23,974
法人税等	30,831	12,898
四半期純利益	64,065	11,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,523	2,722
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,542	8,353

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	64,065	11,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,032	△38,562
その他の包括利益合計	△7,032	△38,562
四半期包括利益	57,033	△27,487
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,097	△29,629
非支配株主に係る四半期包括利益	4,936	2,141

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,389,480	63,144	1,452,624	—	1,452,624	1,452,624
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,389,480	63,144	1,452,624	—	1,452,624	1,452,624
セグメント利益	78,252	27,225	105,477	—	105,477	105,477

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	金属製品事業	レジャー事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,272,243	58,649	1,330,893	—	1,330,893	1,330,893
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,272,243	58,649	1,330,893	—	1,330,893	1,330,893
セグメント利益	7,306	28,072	35,378	—	35,378	35,378

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。